

目次

まえがき 2

第1章 見える？ 見えない？ どっち？

①	みんなと見え方が違う？ なんて？	10
②	両親の背中をいっばい見たあの頃	11
③	見えたときの気持ち	13
④	目を頼らずにできること	14
⑤	拒絶反応	15
⑥	私を変えた点字の世界	16
⑦	私の決断	19
⑧	見える生活	19

第2章 一人歩いた青春

①	視覚に障がいのある子どもたち	24
②	重複障がいの友達	25
③	寄宿舎での生活	26
④	音の力	29
⑤	進路の話	30
⑥	目標への誓い！ まずは自炊生活から	32
⑦	15歳からの一人暮らし	33
⑧	買い物と自炊	34
⑨	神様からもらったご褒美	36
⑩	失明は宿命、音楽が相棒になった日	37
⑪	山が教えてくれたでっかい気持ち	38

第3章 目が見えなくなってから

①	大学で学んだこと	42
②	始まりはボランティアから	43
③	楽譜の世界	44
④	力をもらった	46
⑤	社会人への歩み	47
⑥	原点のライブ	48
⑦	やれることからやる	49
⑧	夢が膨らむ	51
⑨	私のスタジオ	52
⑩	ワンマンの演奏活動	54
⑪	学校公演は未来へのドア！	55
⑫	一緒にやってみよう！ 尊敬する生徒たちと	59
⑬	ありがとうから始めよう	61

第4章 父として

①	ひとりからふたりの生活	66
②	生まれてきた6つの瞳たち	67
③	盲目流、火事場の馬鹿力	70
④	夫婦の役割	73
⑤	子育ての日々	75
⑥	家事は朝のラジオから始まる	78

第5章 障がいを見つめて

①	発想とルーツ	82
②	昭和の盲教育に脱帽	84
③	能力の開放	87
④	わかろうとしなきゃ始まらない	89
⑤	ボランティアと私	92
⑥	兆しを大切にしたい	95

第6章 音楽の力

①	見えなくても大丈夫！	100
②	障がいと音楽	104
③	何ができるか	107
④	ライブの世界	109
⑤	これからを見つめて	113

あとがき	116
------	-----